

ハロー フレンズ

ファイセック

FICEC

発行

ふじみの国際交流センター
Fujimino International Cultural Exchange Center

2011年 8月号 (隔月刊) 第115号

ふじみの国際交流センター 第13回 通常総会開催

平成23年6月19日(日)午前10時から、うれし野会館3階ホールにて「通常総会」が開催されました。各事業担当者より活動報告がありました。

平成22年度も生活相談やシェルター・日本語教室・翻訳・通訳など大勢の外国人と接してきました。8月にうれし野会館に引っ越ししたのをきっかけに、実家のように毎日センターに通って来てくれていた外国人利用者が激減したり、韓国語教室が独立したり英語教室が場所を変えざるを得なくなったことは寂しいことです。

一方、埼玉県との協働事業が実現し、7か国語による快適生活情報クリップを1万部作成し、県内各地の外国人に利用してもらい、携帯電話による通訳システムの基盤も作ることができました。また「今まで警察は外国人を犯罪者として見ていたが、これから

は市民として関わっていきたい」と埼玉県警組織犯罪対策課から協働の依頼があったことは平成22年度の大収穫です。大勢の人とたくさん関係機関の協力をいただいて、今年も満足のいく活動ができたことを心から感謝しています。ありがとうございました。

第1号議案

平成22年度事業報告及び収支決算報告

第2号議案

平成23年度事業計画案及び収支予算案

第3号議案

理事・監事選任

全ての議題を原案通り可決し、無事終了したことをご報告申し上げます



平成 22 年度生活相談集計

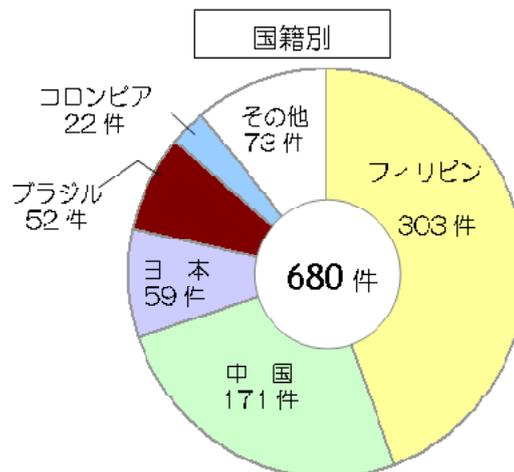
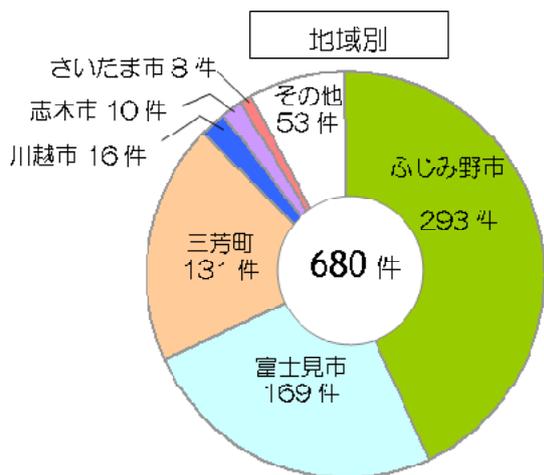
国際結婚に関連して、複雑な相談事例も増加 知的障害をもつ外国人への対応も必要

平成 9 年から生活相談を始め 15 年を迎えました。国際結婚にまつわる相談が多いのが常でしたが、最近では日本人夫の死にまつわる相談が増えています。今年特に目立ったのは、かつて DV 被害者として保護した母子が、私たちのアドバイスに反して実家に帰り、生活に困ってまた家を追い出されて相談に来た例が数件ありました。

また 15 年の活動を通じて、在日外国人の中に、ある一定の割合で知的に問題がある人

の存在を認めざるを得なくなりました。日本人の障害に対しての検査は容易ですが、外国語での検査ができる所は限られていて、知的障害者と認定するのが難しいのが現実です。しかし彼らと日常的に付き合っていると言語がわからない以上に能力の限界を感じずにはいられません。日本が難民として受け入れた人や、配偶者ビザを与えた以上、生涯にわたって彼らを社会的に保障せざるを得ないのではないかと感じるようになりました。

項目別	内容	件数
医療	医療費、病院へ同行（入院手続き等）、うつ、アルコール依存	55
家族	離婚、夫婦トラブル、交際相手、DV、子ども	95
教育	学校との連絡、日本語支援、学習支援、入園・入学手続き	200
言語	日本語指導、翻訳、通訳、代筆	94
司法	税金、犯罪、裁判・法務局対応支援、子どもの国籍	14
住居	住まい探し、引越しの手伝い	14
生活	生活費、生活保護、近隣関係、国民年金・保険手続き	105
入管	ビザ、外国人登録証申請・更新、帰国、保証人	38
労働	求職、会社とのトラブル、技能修得、労働災害	50
その他	ボランティア希望、友達がほしい	15
合計		680 件



外国人はどこで働いているのか？ その1

コンビニ・ファミレスを支えているのは……

藤林 美穂

東日本大震災のあと、日本で働いていた外国人がどんどん母国に帰国してしまい、困っている企業も多いようです。

皆さんは「外国人が日本で働く」というと、どういうイメージを持つでしょうか。びしっとスーツを着こなしたIT関連のビジネスマン？ そういう人たちは都心部にはいるかもしれませんが、多数派ではありません。それよりも、まずあなたの住んでいる町のコンビニ、ファミレスをのぞいてみましょう。「外国人なんていないよ」？ そこであなたが買おうとしているお弁当やサラダを見てください。そのお弁当を詰めたり、野菜を洗って食べやすい大きさに刻んでいるのはおそらく十中八九、外国人です。

コンビニやファミレスは食品産業のいわば表舞台。その表舞台で働く外国人もいますが、その多くは日本の学校への留学経験があって日本語が流暢に読み書き話せて、若くて見た目も日本人とあまり変わらない韓国人・中国人でしょう。日本語ができない外国人たちが働く場は、一般の人からは見えない場所にありません。普通の雇用ルートとは違って、同国人が仕切る派遣会社に登録し、そこから各地域の工場に派遣されるというパターンが多いようです（工場で直接雇われる人もいます）。

私も最初は外国人たちがどういう働き方をしているのか、皆目わかりませんでした。しかし、話を聞くにつけ、食品加工工場で働いている人が多いのに驚かさ

れ（私がお会いする人は女性が多い、ということも関係あるかもしれませんが、男性もたくさん働いているそうです）、日本のコンビニ・ファミレス（学校の給食も！）は外国人がいなくなってしまうたら立ち行かないのではないかと、思うようになりました。

コンビニで深夜にもつくりたてのお弁当を売るために、食品加工工場は24時間体制のところも多く、少しでも賃金のよい深夜勤を選ぶ人も少なくありません。

私は外国人のお客さんの入管手続きを代行するのが仕事なので、とりあえず申請書類を書くためにも私の目の前にいる人に働く場があってお給料がもらえるのは、よかったね、と思うのですが、きつい仕事の深夜勤でも月に17～18万のお給料で、1人で子どもを養い、母国にいる家族に送金をし、さらに人によっては母国に建てた家のローンまでまかなっている、お金が足りないので昼間も別の仕事をしてダブルで稼ぐ、などという話を聞くと、もうめまいがしそうです。自分の体を大切にね、と言うしかありません。

筆者紹介

行政書士（ライフ行政書士事務所）。NGOで働いたり、フィリピン人支援団体でボランティアしたりした後、行政書士開業。毎日いろいろな国から来たいろいろな人の話を聞いて、「在日外国人」の多様性に、びっくりすることの連続です。

今月は、えくぼのチャーミングな山畑さんです。国際理解講座や「15周年記念国際フェスティバル」の実行委員長として活躍していただいています。

国際フェスティバルの取り組みから

山畑博子

予定日だった5月28日、センターの電話は8時ごろからなり始めました。

「今日のフェスティバルは やりますか？」

お祭りを楽しみにしていた人達からの、問い合わせです。11時近くまで、20本近くかかってきました。たくさんの人達が、楽しみにして下さったことを知らされました。残念ながら、台風で中止になったフェスティバルですが、行政や、さまざまな団体に声をかけ相談する中で、FICECがこれまで歩んできた足跡の大きさを知ることが出来ました。

15年間、一步一步地道に活動してきたその活動は、高く評価され信頼されています。センターが行事をやるのなら、是非協力したい！！という暖かい応援の声もいただきました。私はまだ仲間に入れていただいて日が浅いのですが、FICECの活動を広く市民に知ってもらうために、また応援して下さっているたくさんの人達の交流の場をもうけるためにもう一度、フェスティバルの取り組みが出来ればと願っています。

見送りの三振より 空振りの三振

パート

石井 ナナエ

「在日外国人の自立支援」などと途方もなく大きな夢を抱いてふじみの国際交流センターを立ち上げて15年目に入った。日本語指導、多言語情報誌の発行、悩み事と生活相談と並んで、市民としてできる就労支援を数々試してきた。

まずは、友人知人に頼んで工業ミシンやアイロン台をもらい、洋裁を指導した90年代。直線縫いから始めて雑巾、袋物、スカートと進めていく洋裁は、店に出れば1晩で1万円は働ける外国人妻には、時間がかかりすぎる技術指導だったようだ。3年続けたが仕事として実践できたのは、タイのPさんだけだった。2000年からは個人では内職を受けられない彼女達を集めて、センターを内職工場にした。仕事をした数を記録しておき、集計して月末にお金を払う事にした。しかし、破損や返品が多く、2年もしないうちに仕事をもらえなくなってしまった。

2005年に試みたのが、ヘルパー2級研修。国家試験の中で唯一筆記試験がなく、130時間の講義を受ければ資格が取れる。レポート提出は代筆も可で、何より心やさしい外国人妻にはピッタリの職業だと思う。この年は5人が合格した。2008年からはパ

ソコン指導を始めた。パソコンの技術を生かして仕事に就くには、かなりの時間と努力が求められるが、先生から出された課題に挑戦して、もくもくとパソコンに向かっている彼女達を見ると拍手を送りたくなる。

2010年から始めたのが携帯電話を利用した通訳業務。母語はもちろん、かなりの日本語力のある人だけができる仕事である。現在14の市区町村と契約し月～金の午後、5カ国語で対応している。しかし、電話を置いたまま急に帰国してしまったり、アルバイトが見つかったからと言って、詫びの言葉もなく辞めてしまう人がいる。「何よ、何なのよ」とついつい文句を言いたくなる。「やっぱり外国人の自立支援なんて無理だったんだ」と肩の力がドドッと崩れる。でも、ここで投げ出しては女がすたる。給料も少ないし無理もない。我々の経営手腕も心配だったのかも知れない。

「我が友に聖女あり 与えて求めず 年を経て いよいよ輝く 菩薩と呼ばれん」太田原さんから贈っていた五行詩を読み返しては、いらだつ心を静め次はどうしようかと考えている。

埼玉県国際課委託

「外国人地域活動デビュー支援事業」

「レッツ エンジョイ 国際交流！」

国際結婚が6%を超える現在でも外国人に対する壁は厚く「埼玉県に転居して1年半もたつのに隣の日本人は声もかけてくれない」というような相談が寄せられています。日本人自身も「食料自給率が40%」という自覚を持って外国人住民と交流しなければいけないと思います。

日本人と外国人が地域活動に協力することで地域住民をはじめとして様々な人に外国人の存在を知ってもらい、お互いの存在価値に気付くことを願い、「レッツ エンジョイ 国際交流！」(全4回)を企画します。

第1回

「上福岡駅前広場のゴミをなくそう」(予定)

9月30日夕方6時から、日本人と外国人が上福岡駅前広場でゴミを拾いながら、自慢できる駅前広場作りに力を合わせます。その後、交流会も予定しています。日本人10人、外国人10人を募集します。詳しいことはHPやポスターをご覧ください。

なんでも伝言版

生活情報誌「インフォメーションふじみの」

ふじみの国際交流センターでは、外国籍市民のための生活情報誌「インフォメーションふじみの」を毎月7ヶ国語(中国語・英語・韓国語・ポルトガル語・スペイン語・タガログ語・日本語)に翻訳して発行しています。今月よりハローフレンズとともに日本語版のページをお届けします。

今後の活動予定

上福岡七夕まつり出店(福岡中央公園イベント広場)。8月6日7日 センターからはインド・フィリピン・スリランカ・トルコのお店を出します。ぜひお出掛けください。

外国籍市民が安心・安全に暮らすために

「7カ国語による 快適生活情報クリップ」

ができました

異国の地にあり、苦労を重ねる外国籍市民とともに喜びと涙を分かち合って15年、「ふじみの国際交流センター・外国人相談」は、相談者の心とともに歩むという姿勢で多くの問題を解決してきました。年間活動実績は700件にも達しようかという件数は、相談スタッフの情熱がいかに本物かを物語っています。こうした相談内容の記録を「言葉・教育・生活・病院・法律・・・」等分野別にまとめたダイジェスト版が「7カ国語による 快適生活情報クリップ」です。今後、相談内容を分野別にしたものを1冊の冊子にまとめ、発行する予定ですが、具体的な相談内容を理解していただくための1冊として作りました。

この事業は、埼玉県NPO基金によるNPO協働提案事業として実現したものです。本誌は、埼玉県下の72市町の関係部署にお届けしておりますが、行政組織によらず独自に外国籍市民の支援を続けておられる皆様にも送付したく準備しております。本誌「快適生活情報クリップ」は無料ですが、送付費用は着払いで負担していただきます。

ぜひ、ご利用ください。

電話：049-256-4290 FAX：049-256-4291



センターの活動をご支援ください
会員・賛助会員・寄付のご案内

活動を担う会員.....正会員

正会員は、スタッフなどとして活動を担っていただく会員です。この会員は、総会などでの議決権をもちます。

年会費：個人1口3,000円、団体1口10,000円

センターを財政的に支える会員.....賛助会員

賛助会員は、センターを財政的に支えていただく会員です。総会等での議決権はありませんが、センターのイベントなどのご案内や、機関誌をお送りいたします。

年会費：個人1口3,000円、団体1口10,000円

会員、賛助会員にはこの機関紙をお送りします

郵便振替口座：00110-0-369511
 口座名：ふじみの国際交流センター

外国人生活相談 無料

月曜日～金曜日 10:00～16:00

電話：049-269-6450

困っている外国人の方がおられたら
 センターをご紹介ください。

ご寄付をいただいた方々

ご支援ありがとうございます

2010年4月～(50音順・敬称略)

イオン(株)大井店、国際ソロプチミスト埼玉、立麻医院、東京電力労働組合埼玉支部、はんこ村ときわ台店、東入間地区遊技業防犯協力会

阿澄康子、安部幸枝、荒田光男、有山高司、石井ナナエ、伊藤真弓、岩田仁、太田原裕、小野田久美子、小原知子、葛西敦子、梶加寿子、加藤久美子、金子忠弘、神田順子、小熊千寿子、木場ひろみ、駒形一夫、鈴木譲二、田口信一、寺村壁如、鳥居政子、内藤忍、中嶋恵津子、中村禎作、荻原千代子、長谷川雅恵、長谷川正江、浜本由里子、楨原麗子、森田信子、山畑博子



サービス料金表

ふじみの国際交流センターでは、センターの設備や、会員・スタッフの技能により、様々なサービスを行っております。ぜひ、ご利用ください。

種別	料金	対象
印刷機	マスター(製版代) 1枚100円 印刷代1枚1円	市民団体 個人
コピー機	1枚10円	
製本機	A4判1冊50円	
折り機	無料	

種別	内容	料金
講師派遣	国際理解教育	3,000円+交通費
	外国料理教室	5,000円(材料費別途)
	語学教室	内容・予算に応じて相談
企画・運営	国際交流・国際理解に関するイベントや研修の企画・運営等	
編集・出版 ホームページ	多言語による情報誌・ガイドブック、ホームページの制作	1枚5,000円
	日本語によるチラシデザイン(A4判)	
翻訳	英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、タガログ語、タイ語、ロシア語、ベトナム語	婚姻関係、ビザ申請、履歴書 A4判1頁、40字・30行 1枚1,000円
	その他の文書	A4判1頁、40字・20行 1枚3,000円より
通訳	英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、タガログ語、タイ語、ロシア語、ベトナム語、シンハラ語	半日5,000円+交通費

特定非営利活動法人ふじみの国際交流センター

〒356-0053 埼玉県ふじみ野市大井2-15-10
 うれし野まちづくり会館2階
 Tel: 049-256-4290 Fax: 049-256-4291

ボランティア活動に、ご参加ください

ふじみの国際交流センターでは、日本語指導をはじめ、外国籍市民との交流・手助けをするボランティアを募っています。ぜひ、電話またはホームページから、お気軽にご連絡ください。